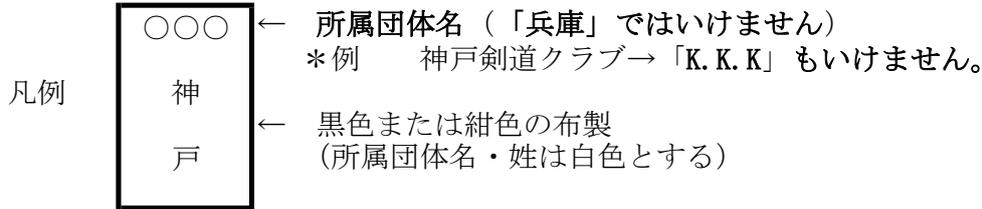


第66回 兵庫県剣道優勝大会（一般の部） 兼
第73回 兵庫県民体育大会（剣道競技）実施要項

1. 主催 (一財) 兵庫県剣道連盟・兵庫県・兵庫県教育委員会
(公財) 兵庫県体育協会
2. 後援 神戸市・神戸市教育委員会・(公財) 神戸市スポーツ協会
神戸新聞社
3. 日時 令和元年11月23日(土祝) **受付(身障者体育館) 午前8時45分**
開会式 午前9時30分
4. 会場 神戸市立王子スポーツセンター
神戸市灘区青谷町1-1-1
5. 出場選手資格及びチーム編成方法
 - (1) 当連盟に加盟している会員団体に所属し、当連盟の登録会員であること。
ただし、学生・生徒は除く。
 - (2) 各団体1チームとする。
ただし、登録会員が50名以上の団体は2チームまでの出場を認める。
 - (3) チームの構成は、監督1名、選手5名、補欠2名とする。
出場選手は、七段以下とし、低段位者から順に編成する。
ただし、七段出場者は1名とする。
6. 出場の申込
令和元年10月15日(火)までに、申込書(ホームページからダウンロード)により、参加料を添えて下記に申し込みください。
〒657-0838 神戸市灘区王子町1-2-8 虹ヶ池ハイツ201号
一般財団法人 兵庫県剣道連盟
* **団体の略称名(5文字以内)**を申込書に記入してください。
7. 試合・審判及び試合方法
 - (1) 全日本剣道連盟 試合・審判規則とその細則による。
 - (2) 試合は、トーナメント方式による。
 - (3) 試合時間は4分とし、制限時間内に勝敗が決しない場合は、引分けとする。
 - (4) 試合は3本勝負とし、勝者数法による。
 - (5) 勝者数が同数の場合は、総取得本数の多いチームを勝とし、総取得本数が同数の場合は代表者戦を行う。代表者はそのチームにおいて任意に選択する。
代表者戦は1本勝負とし、延長は時間を区切らずに勝敗の決するまで行う。
 - (6) 選手の交代は、補欠に登録した選手でなければならない。前記以外のものが出場した場合は失格とする。
また、一度交代した選手の再出場は認めない。
 - (7) 審判員は、連盟が委嘱する。審判員は監督・選手を兼ねることは出来ない。
8. 竹刀の計量、検査について(場所は身障者体育館)
 - (1) 竹刀の計量は、大会当日必ず受けること。
 - (2) 竹刀の基準は、全日本剣道連盟剣道試合・審判規則及び細則並びに剣道試合・審判運営要領による。**(改訂前のままで実施)**
* 身障者体育館は、竹刀検量終了後は練習会場として使用できます。
(剣道場は使用不可)
9. 表彰
 - (1) 優勝より第3位までに賞状及び賞品を授与する。
 - (2) 優秀選手(若干名)に優秀選手賞を贈る。

1 0. 試合者の名札について

出場選手は、剣道具の垂中央に黒色または紺色に白抜きで所属団体名（横書き）、姓（縦書き）を明記した布製の名札を必ず着けること。
所属団体名を明記していない場合は、名札を差し替えてもらうことになります。
連盟に登録している団体名（文字）であること。



1 1. 参加料 1チーム 10,000円。（傷害保険料を含む。）

1 2. 出場選手の健康管理

試合に出場する選手は自己の健康に留意し、無理のないようにすること。
また、団体においても勝ちたいために、有力選手の健康状態が良くないのに出場させることの無いよう特に配慮してください。

1 3. 病気・負傷者の取り扱い

試合中、病気や負傷のときは応急処置及び傷害保険範囲内の処置を行いますが、負傷事故の出ないように出場される方は十分な用具管理と健康管理をお願いします。

1 4. その他

- (1) 出場チームは、赤白の目印を各5本持参すること。
- (2) 補欠との交代は、必ず事前に試合場審判主任に申し出ること。
- (3) **開会式には全チーム参加すること。**
- (4) 出場チームは、当日各試合場の進行係主任に下記のオーダー表を提出すること。
 - ① 団体名と選手の姓のみ記入する。（但し、同姓の場合は、名前の一文字を右下に記入する。）
 - ② 団体名・選手の姓は**墨または太字マジック**で大きくわかりやすく書くこと。
 - ③ オーダー表の大きさは次のとおり。

↑	団	先	次	中	副	大
20センチメートル	体	鋒	鋒	堅	将	将
↓	名	鋒	鋒	堅	将	将
	←	80センチメートル				→

以上